

市民学習会「子どもの成長から考える
小中一貫教育ってなあに？」
7月26日(土)10:00~
和泉シティプラザ
お話：山本由美さん(和光大学)

泉北教育

NO.1970 2014.6.23.
発行 泉北教職員組合
〒594-0071 和泉市府中町6-12-2
0725-41-1953 Fax0725-44-6570
E-mail senboku@gf6.so-net.ne.jp

泉北教組定期大会・女性部大会

和泉の学校給食

栄養教諭から発言

自校・直営が一番おいしくて安心

学校給食検討委員会に栄養教諭として参加して

和泉市学校給食検討委員会に栄養教諭として参加しました。構成メンバーは、学識経験者2名(大学の先生)、保護者代表2名、市民委員2名、中学校校長代表2名、そして栄養教諭1名の合計9名です。

委託で安全でおいしい給食はできない

会議では、市はコストを重視し、自校直営方式が一番お金がかかり、委託にすればどれだけ安あがりになるかを強調しました。委託にすると和泉市の現行基準より人員配置が多くなり、衛生管理の面でメリットが生じるともいっています。人員配置が多いとどうして衛生管理の面でメリットが生じ、安全な給食調理が可能なのかその根拠が私にはわかりません。委託の場合人員配置が多くなるのは、パート雇用の調理員一人がやれる仕事量が十分でないから人数を増やして仕事を完成させなければならないからです。仕事が十分にできないのは、パートのため経験が浅く、調理技術が未熟だからです。そのような人たちの衛生管理の知識が十分にあるとは思えません。市は、調理責任者には十分な経験や衛生面の知識があり、その人が他の人を指導するといっています。しかし、たった一人の責任者が何人もいる調理員すべての仕事を把握し、調理や衛生面の指導をすることができるのでしょうか。調理従業者全員がきちんとした調理技術と衛生知識とを持っていないと、安心安全でおいしい給食はできないと思います。

栄養教諭は調理員さんと一緒に給食つくってこそ食育

栄養教諭は、今は午前中給食調理業務に手を取られているが、委託にした場合は、業者が調理業務を指示することになるので、時間的余裕が生まれ食育に関する業務に時間を割り当てられると市はしています。調理を安心して任せられることが前提としてあるのなら食育に時間をかけられます。しかし、未熟な調理員が多いと安心できません。安心安全なおいしい給食を提供できた上での食育です。

栄養士は現在は調理作業に従事したり調理員さんに直接作業の指示をしたりすることができますが、

委託になると請負業務になるので、法律上そのようなことができなくなります。栄養教諭が調理室で作業の直接指示もできないのに、本当に今までと質の変わらないおいしい給食ができるのでしょうか。とても不安です。私たち栄養教諭は、給食を通して食育を行わなければ意味がありません。自分たちが考えた献立が思った通りにできあがるように、調理員さんたちと一緒に作ってこそ、給食が生きた教材となり、子どもたちに食育ができるのです。

直営の熟練調理員さんで一番おいしく安全な給食ができる

5回までの会議で自校方式で給食を実施することが決まりましたが、委託か直営かは、平成26年3月3日の第6回会議で9名の委員による挙手で決まりました。結果は、委託反対は私を含む2名、賛成7名でした。教育現場にいる小中の校長2名も委託に賛成でした。ある校長は、自校の調理員さんが休んだ時、今は他の学校に調理員の応援要請をしなければいけないのですが、委託にするとその仕事なくなるのはいいことだといわれていました。給食を教育の一環として考えておらず、ただ事務的に面倒だと考えているようです。委託になれば調理の監督は業者が行いますが、委託業務の管理監督は市だけでなく学校も行わなければなりません。簡単に手間が省けると喜ぶのは単純すぎるのではないのでしょうか。

私は、継続的に調理や衛生の研修を今まで続けてきた直営方式(市職員)の熟練調理員さんの手によってこそ一番安全でおいしい給食ができると思います。現在の調理員さんたちが持っているすぐれたものを後の新しい調理員さんたちに伝えていくことも大事です。ですから、民間委託ではなく、直営の調理員を採用して、和泉市が自慢できるすぐれた今の自校直営の学校給食をこれからも続けていくべきだと思います。

(発言原稿をもとに、編集部で責任で要旨にまとめ見出しをつけました。)



あいさつする和泉市学校図書館支援司書の船田さん(右)と村上さん

泉北教組定期大会・女性部大会は、6月17日、和泉コミュニケーションセンターで行われ2014年度の運動方針を決定しました。大会来賓には和泉市学校図書館支援司書の船田さんと村上さんがられました。お二人のあいさつでは、和泉市の学校図書館支援司書を現在の有

償ボランティアから市職員にするよう待遇の改善を求める署名への協力の訴えがありました。発言では「分会交流会援助金を活用した取り組み」「組合活動の大切さ」などがありました。和泉市学校給食検討委員会に栄養教諭として参加した方からの発言要旨を左に掲載します。

組合に加入して、「教育基本条例」「評価・育成システム」をなくそう!